

「合唱コンクール必勝法を伝えるポスターを書く」

～目的に応じて、伝えたい事柄を明確にして書く～

目的に応じて情報を選び、伝えたい事柄を明確にして記述することに課題が見られました。そこで、本アイデアでは、生徒の経験を材料にして、相手や目的を意識してポスターを書く学習を提案します。目的に応じた内容を盛り込むこと、順番やまとまりを工夫して書くことなどの留意点を推敲の観点にすることで、伝えたい事柄を明確にして書くことを狙いとしています。



課題の見られた問題の概要と結果

… A3 報告をする文章を書く

学習指導要領における領域・内容

A3 二 正答率 49.6%

〔第2学年〕B 書くこと ウ

出された意見を整理して、決定の理由を適切に書く。

授業アイデア例

学習の流れ

合唱コンクールについて1年生の参考になるポスターを作成するためには、どのような内容を盛り込めばよいか考える。(第1時)

前時で決定した盛り込む内容を具体的に考え、ポスターに載せる文章を書く。(第2時、第3時)

書いた文章をグループで読み合い、目的に応じたものになるように交流する。交流したことを基に、必要に応じて推敲し、清書する。(第4時)

〔言語活動〕 1年生に向けて、「合唱コンクール必勝法」をまとめたポスターを作成する。

〈授業前の教師の準備〉

A3 二についての生徒の解答の状況を「解答類型」(平成25年度 報告書 中学校 国語)に照らして把握する。特に、以下の「解答類型」の生徒の解答の状況に着目する。

- ・ 「解答類型3」の生徒
【選考会で出された意見】を踏まえず、自分の感想などを書いている。
【選考会で出された意見】は踏まえているものの、取り上げた情報が重複している。
- ・ 「解答類型9」の生徒
「解答類型3」で示した解答の状況に加えて、後に続く部分とのつながりを考えて書くことができていない。

第1時

- ① 学習の見通しをもち、1年生が合唱コンクールに向けて練習に取り組むに当たって、参考になるのはどのようなことなのか、学級全体で話し合う。

〔話し合いで出されたアドバイスの観点〕

- ◎ 合唱コンクールに臨む心構え ◎ 目標の立て方 ◎ 曲の選び方
- ◎ 練習計画の立て方 ◎ 発声練習の大切さ ◎ 歌うときの姿勢
- ◎ 伴奏や指揮のコツ ◎ 自分たちの経験 ◎ 上達する練習法

〔アドバイスすることに決めた六つの観点〕

- ◎ 合唱コンクールに臨む心構え
- ◎ 目標の立て方
- ◎ 曲の選び方
- ◎ 練習計画の立て方
- ◎ 伴奏や指揮のコツ
- ◎ 上達する練習法

〔学級で作成するポスターのイメージ〕



私たちのグループは、「曲の選び方」という観点で書くことにしました。

- ② 〔アドバイスすることに決めた六つの観点〕を各グループで一つずつ分担する。

第2時、第3時

- ③ アドバイスする具体的な内容を付箋に書き出し、その中から文章に盛り込む内容をグループで整理する。
〔「曲の選び方」について〕

重要。歌詞の内容も
ものがよい。

ても、曲は難しすぎ
ダメ！

いい、全員で話し合
たくなる曲に。

個性を生かした
曲を選びをする。



たくさん出てきたけれど、
これら四つの内容を盛り込む
ことにしよう。

〔書き出した付箋を整理している様子〕

- ④ グループで話し合った内容を盛り込んで、一人一人が文章を書く。



教師

1年生にとって分かりやすい文章になるように、情報を示す順番や、段落のまとまりを考えて書きましょう。

第4時

- ⑤ 互いの書いた文章をグループで読み合い、情報の取り上げ方、段落のまとまりなどについて交流する。必要に応じて推敲し、清書する。

〔〇〇さんが書いた「曲の選び方」についての文章〕

二段落目の「学級の特徴を生かした」の部分は三段落目の内容と重なるから、削った方がよいのではないかな。



コンクールで歌う曲を選ぶときに気を付けることを三つアドバイスします。

一つ目は、学級の特徴を生かした、みんなが歌いたくなる曲を選ぶことです。候補曲をよく聴いて、どの曲のどのような所が好きかなど、みんなで話し合う場をもつとよいと思います。

二つ目は、学級の特徴や個性を生かした曲を選ぶことです。例えば、元気のよい、声量がある学級ならば、強弱のはっきりした、ドラマチックな曲を選ぶのがよいと思います。

三つ目は、歌詞の内容にも目を向けて、共感できるものを選ぶことです。私は、1年生のとき「マイバラード」を歌って金賞を取ることができました。金賞が取れたのは、パートごとの練習を大切にし、時間を多くかけたからです。みんなで協力して、すばらしい合唱にしてください。



あれ、盛り込む
内容として選んだ
曲の難しさについ
てのアドバイスが
抜けているよ。

四段落目を読み直してみましょう。「曲の選び方」という観点に合わないアドバイスの内容はありませんか。



〈第4時終了後の教師の分析〉

下書きや清書の文章を分析する。

授業前に把握した「解答類型3」や「解答類型9」に該当する生徒が、次の観点で文章を記述したり、推敲したりすることができているかどうかを見る。

- 目的（合唱コンクール必勝法を伝える）や相手（1年生）を意識して、必要な情報を取り上げて記述している。
- 取り上げるべき情報を、重複したり不足したりしないように文脈に注意して記述している。

- ⑥ それぞれのグループから代表の文章の一つを選び、それらを組み合わせてポスターを完成させる。

本授業アイデア例 活用のポイント

- 本アイデアのように、個々の生徒の学力の状況を「解答類型」から把握することで、それぞれの課題に応じた指導が可能になる。例えば、文の接続に注意して書くことができていない生徒（解答類型2）が多い場合は、記述の際に、文の中での内容のつながりに留意して書くように指導することが効果的である。